

令和 3年度予算見積調書

課室名：管財課
 担当名：営繕担当
 内線：2595

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
B34	スマートオフィス推進モデル事業費		一般会計	総務費	総務管理費	財産管理費	県有財産管理営繕事業費		
事業期間	令和 3年度～	根拠法令				宣言項目	06 次代を担う人財育成	SDGsゴール	8
	令和 5年度		分野施策	030727 就業支援と雇用環境の改善	SDGsターゲット	8-2, 8-8			
1 事業概要			5 事業説明						
<p>老朽化が進行する「第二庁舎」において、執務室内での多様な執務スペース及び複数課室が共通で利用する共用スペース等を創出し、デジタル化の進展を踏まえた創造的な生産活動を行う働きやすい執務環境の実現を目指す。</p> <p>令和3年度は、一部階の一部でモデル事業として実施し、検証結果を翌年度以降に活用していく。</p> <p>(1) スマートオフィス推進モデル事業 54,384千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>① 第二庁舎における執務環境の改善の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・執務室レイアウトの見直しによる打合せ等共用スペースの創出 ・机、椅子、収納等の省スペース化及び更新 <p>② 公募型プロポーザルによる事業者の選定による事業実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロポーザル競技審査により事業者を選定し、現状把握、改善提案及び事業検証を実施 <p>③ モデル事業内容の検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ABW※に基づく執務室内での多様な執務スペース創出によるコミュニケーションの活性化や職員の満足度向上の効果検証 ※ ABW (Activity Based Working) 職員自ら業務内容に合わせて働く場所や机を主体的に選択できる働き方 全ての仕事を一つのデスクでこなすのは不合理という考え方に基づく ・間仕切り収納の削減による複数課室共用スペースの創出の実現性の検証 ・収納量を抑制するための働きかけ方等の検証 <p>(2) 事業計画 令和 3年度 第二庁舎 (一部) の執務室の環境改善 (モデル事業)</p> <p>(3) 事業効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務内容に合わせて働く場所や机を主体的に選択できる働きやすい執務環境に改善することで、業務の効率・迅速化、自由闊達な議論、交流による創造性の発現を促進し、創造的な生産活動が図られる。 ・スペースの多様化、収納量の抑制の取組と、関係各課によるペーパーレス化を推進する取組とが連携することで、埼玉県DX推進計画が促進される。 <p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床の補修については、課所によって状態が大きく異なることから、必要に応じて既定予算で対応する。 						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員									
<p>(1) 人件費 9,500千円×1.0人=9,500千円</p> <p>(2) 組織の新設 なし</p> <p>(3) 改廃及び増員 なし</p>									
予算額			財 源 内 訳				一般財源	前年との 対比	
決定額	54,384						54,384	54,384	
前年額	0						0		